

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 19 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 1 日 作成

事務事業名		国民健康保険予算編成事務事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 中山 輝一郎
	施策	15	健康づくりの推進		所属課	健康づくり推進課	担当者名 澤田勝矢
	基本事業	46	保険医療制度の健全な運営		所属班	国保年金班	(内線) 2163
					法令根拠	国民健康保険法	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12
								コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 s33 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
 【事業の内容】国民健康保険運営に必要な額のうち拠出金及びその他の予算編成
 【業務の流れ】必要額を積算し予算編成する
 【主な予算費目】01-01-01一般管理費、03-01-01後期高齢者支援金、03-01-02後期高齢者関係事務費拠出金、04-01-01前期高齢者納付金、04-01-02前期高齢者関係事務費拠出金、05-01-01老人保健医療費拠出金、05-01-02老人保健事務費拠出金、06-01-01介護納付金、07-01-01高額医療費共同事業拠出金、07-01-02その他共同事業拠出金、07-01-03保険財政共同安定化事業拠出金、08-01-01保健衛生普及費、09-01-01財政調整基金積立金、11-01-01一般被保険者保険税還付金、11-01-02退職被保険者等保険税還付金、11-01-03償還金、12-01-01予備費

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 20年度予算編成作業	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 21年度予算編成作業
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア 予算額 千円 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 国民健康保険特別会計	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア 予算額 千円 イ 年度末被保険者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 国民健康保険制度の運営ができる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア 単年度収支 千円 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 保険医療制度が適切に運営されている	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア 一般会計からの繰入金 千円 イ 保険給付に占める保険税比率 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		427,204	297,485	377,665	356,507	356,500	356,500	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 の み 記 載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円		92,666	66,649	74,443	76,153	76,150	76,150	
		地方債	千円								
		その他	千円		558,868	664,429	723,826	778,551	778,550	778,550	
		繰入金	千円			30,445	12,215	17,588	17,580	17,580	
		一般財源	千円		610,176	433,799	245,878	276,559	276,550	276,550	
	(A) 事業費計	千円	0	1,688,914	1,492,807	1,434,027	1,505,358	1,505,330	1,505,330		
	うち指定経費	千円		1,688,914	1,492,807	1,434,027	1,505,358	1,505,330	1,505,330		
	うち時間外、特殊勤務手当	千円		0							
	人件費										
正規職員従事人数	人			5	5	5	5	5	5		
延べ業務時間	時間			880	1,500	1,710	1,800	1,800	1,800		
(B)人件費計	千円	0	3,502	5,970	6,806	7,164	7,164	7,164	7,164		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	1,692,416	1,498,777	1,440,833	1,512,522	1,512,494	1,512,494	1,512,494		
活動指標	ア 千円 イ		4,925,315	4,731,346	5,179,229	4,995,048	5,045,000	5,100,000			
対象指標	ア 千円 イ 人		4,925,315	4,731,346	5,179,229	4,995,048	5,045,000	5,100,000			
成果指標	ア 千円 イ		-35,084	-121,966	-46,730	-120,722	-50,000	-50,000			
上位成果指標	ア 千円 イ %	686529 (43.5) 32.5	685758 (39.4) 28.7	590200 (45.0) 35.0	439812 (30.2) 26.7	610000 (45.0) 35.0	630000 (45.0) 35.0		22 年度		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
 ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
国民健康保険制度の開始により。
 ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
医療制度改革により、20年度から大幅に制度が変わり、先の見込みが難しい。
 ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
国民健康保険制度で定められた拠出金等であるためどうしようもない。またこのことについての意見等は出ていない。

事務事業名	国民健康保険予算編成事務事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 国保制度上必要である
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 国民健康保険制度は市が保険者である
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 国民健康保険制度であるので追加はできない
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 適正な税収を確保し健全運営を行う
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 国保制度がある以上廃止・休止できない
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 国民健康保険法で定められている <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要額のみ計上している
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 人件費はほとんどかかっていない
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 国民健康保険制度上のことであり公平・公正である

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、適正な税収を確保し健全運営を行う。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)